

データヘルス計画

第3期計画書

最終更新日：令和6年04月03日

神奈川運輸業健康保険組合

STEP 3 保健事業の実施計画

事業全体の目的

事業主と共に加入者の健康寿命の延伸を大きなテーマとして、適切な医療と総合的な予防医療の提供を通じて生活習慣病の予防と早期発見を図り、加入者全体の健康水準向上と生産性の向上を達成すること

事業全体の目標

特定健診特定保健指導の実施率向上
内臓脂肪症候群の減少
事業主とのコラボヘルスの実現

事業の一覧

職場環境の整備

加入者への意識づけ

保健指導宣伝	ICTを活用した広報
保健指導宣伝	ジェネリック医薬品促進通知
体育奨励	体育奨励施設契約
その他	医療費通知の配布

個別の事業

特定健康診査事業	特定健診
特定健康診査事業	巡回レディース健診
特定保健指導事業	特定保健指導
保健指導宣伝	生活習慣病個別受診勧奨通知
保健指導宣伝	禁煙対策事業
疾病予防	人間ドック
疾病予防	前期高齢者保健指導
疾病予防	乳がん検診推進事業
疾病予防	インフルエンザ予防接種
その他	保健センター運営

※事業は予算科目順に並び替えて表示されています。

予算科目	注1)事業分類	新規既存	事業名	対象者				注2)実施主体	注3)プロセス分類	実施方法	注4)ストラクチャー分類	実施体制	予算額(千円)						事業目標	健康課題との関連	
				対象事業所	性別	年齢	対象者						実施計画								
													令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度			
アウトプット指標												アウトカム指標									
特定保健指導実施率(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：17.2% 令和7年度：18.4% 令和8年度：18.7% 令和9年度：19.7% 令和10年度：19.7% 令和11年度：20.4%)-												特定保健指導対象者の減少率(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：17% 令和7年度：17% 令和8年度：18% 令和9年度：19% 令和10年度：20% 令和11年度：20%)-									
-												特定保健指導による特定保健指導対象者の減少率(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：10% 令和7年度：10% 令和8年度：10% 令和9年度：10% 令和10年度：10% 令和11年度：10%)-									
-												内臓脂肪症候群該当者割合(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：24% 令和7年度：24% 令和8年度：22% 令和9年度：22% 令和10年度：20% 令和11年度：20%)-									
保健指導宣伝	4	既存	生活習慣病個別受診勧奨通知	全て	男女	40～74	基準該当者	1	イ	ウ	-	-	1,000	-	-	-	-	-	未受診者を減らし、重症化予防をする	服薬による支援除外対象者を含めると約半数が生活習慣病リスクを抱えており、支援終了率は動機付け支援のほうが高い 糖尿病・人工透析・高血圧の医療費が生活習慣病の上位を占めていた	
													通知後受診しているか確認をする	通知後受診しているか確認をする	ハイリスク未受診者については電話支援を実施する	ハイリスク未受診者については電話支援を実施する	ハイリスク未受診者については電話支援を実施する	ハイリスク未受診者については電話支援を実施する			
													通知件数(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：600件 令和7年度：600件 令和8年度：600件 令和9年度：600件 令和10年度：600件 令和11年度：600件)-								通知後の受診件数(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：100件 令和7年度：100件 令和8年度：100件 令和9年度：100件 令和10年度：100件 令和11年度：100件)-
2,5	既存	禁煙対策事業	全て	男女	40～74	被保険者、基準該当者	1	エ,ケ,サ	ア,ウ	-	-	-	30	-	-	-	-	-	特定健診問診票による喫煙習慣リスク保有者の割合を減らす	スコアリングレポートより喫煙習慣リスク及び食事習慣リスクが不良である	
													禁煙を希望する参加者を募り、事業に参加	広報方法を検討し参加者を増やす	広報方法を検討し参加者を増やす	広報方法を検討し参加者を増やす	効果検証を実施する	効果検証を実施する			効果検証を実施する
													参加者数(【実績値】 10人 【目標値】 令和6年度：10人 令和7年度：10人 令和8年度：10人 令和9年度：10人 令和10年度：10人 令和11年度：10人)-								(アウトカムは設定されていません)
疾病予防	2,3	既存	人間ドック	全て	男女	40～74	その他	1	オ,コ	カ	-	-	9,000	-	-	-	-	-	疾病の早期発見と早期治療につなげ、重症化予防を図る 特定保健指導の対象者は当日面談も実施する	メタボリックシンドロームの該当者率が業態平均より高く、生活習慣病リスク保有者の割合も不良である 糖尿病・人工透析・高血圧の医療費が生活習慣病の上位を占めていた	
													人間ドック/脳ドック/生活習慣病健診/簡易脳ドックについて30歳以上にに対し補助(30歳代は5年に1回、40歳以上は年に1回請求可能)	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施			継続実施
													受診者数(【実績値】 400人 【目標値】 令和6年度：400人 令和7年度：500人 令和8年度：600人 令和9年度：600人 令和10年度：600人 令和11年度：600人)-								内臓脂肪症候群該当者割合(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：24% 令和7年度：24% 令和8年度：22% 令和9年度：22% 令和10年度：20% 令和11年度：20%)-
2,4	既存	前期高齢者保健指導	全て	男女	65～74	基準該当者	1	イ,オ,ケ	-	ア,イ,ウ,カ	-	-	3,000	-	-	-	-	-	前期高齢者の医療費及び納付金の抑制	糖尿病・人工透析・高血圧の医療費が生活習慣病の上位を占めていた	
													医療費および納付金への効果を検証し、継続実施を検討する	医療費および納付金への効果を検証し、継続実施を検討する	医療費および納付金への効果を検証し、継続実施を検討する	医療費および納付金への効果を検証し、継続実施を検討する	医療費および納付金への効果を検証し、継続実施を検討する	医療費および納付金への効果を検証し、継続実施を検討する			
													面談実施件数(【実績値】 30件 【目標値】 令和6年度：30件 令和7年度：30件 令和8年度：30件 令和9年度：30件 令和10年度：30件 令和11年度：30件)-								前期高齢者一人当たり医療費(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：10,000円 令和7年度：10,000円 令和8年度：10,000円 令和9年度：10,000円 令和10年度：10,000円 令和11年度：10,000円)-
面談実施率(【実績値】 10% 【目標値】 令和6年度：10% 令和7年度：10% 令和8年度：10% 令和9年度：10% 令和10年度：10% 令和11年度：10%)-												-									
3,5	既存	乳がん検診推進事業	全て	女性	30～59	加入者全員	1	ケ	オ	-	-	-	30	-	-	-	-	-	乳がんに対する意識付けのため実施、早期発見早期治療に努める	該当なし(これまでの経緯等で実施する事業)	
													年に1回対象者の自宅へ乳がん検診推奨リーフレットと自己検診用セルフチェッカーを郵送する	継続実施 効果検証の方法を検討	継続実施 効果検証の方法を検討	継続実施 効果検証の方法を検討	継続実施 効果検証の方法を検討	継続実施 効果検証の方法を検討			継続実施 効果検証の方法を検討
													郵送件数(【実績値】 150件 【目標値】 令和6年度：150件 令和7年度：150件 令和8年度：150件 令和9年度：150件 令和10年度：150件 令和11年度：150件)-								乳がん罹患患者数(【実績値】 10人 【目標値】 令和6年度：10人 令和7年度：10人 令和8年度：10人 令和9年度：10人 令和10年度：10人 令和11年度：10人)乳がんの早期発見・重症化予防
4,8	既存	インフルエンザ予防接種	全て	男女	20～74	その他	1	ス	カ	-	-	-	525	-	-	-	-	-	職場内・家庭内でのインフルエンザ蔓延防止、重症化予防	該当なし(これまでの経緯等で実施する事業)	
													費用は全額健保負担	流行時期に保健センター内で接種を実施	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施			継続実施
													接種者数(【実績値】 200人 【目標値】 令和6年度：200人 令和7年度：200人 令和8年度：200人 令和9年度：200人 令和10年度：200人 令和11年度：200人)-								(アウトカムは設定されていません)
その他	3	既存	保健センター運営	全て	男女	20～74	加入者全員	1	オ,コ	-	-	ア,イ	1,450	-	-	-	-	-	事業所との密な連絡を取り合い、加入者の健康づくりをサポートしていく。	特定健診実施率が上昇傾向であるが、目標率は達成していない	
													完全予約制とし、健診や予防接種を実施する	引き続き運営していく	引き続き運営していく	引き続き運営していく	引き続き運営していく	引き続き運営していく			
													年間利用者数(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：2,500人 令和7年度：2,500人 令和8年度：2,500人 令和9年度：2,500人 令和10年度：2,500人 令和11年度：2,500人)ホームページ等によるPR強化								(アウトカムは設定されていません)

注1) 1. 職場環境の整備 2. 加入者への意識づけ 3. 健康診査 4. 保健指導・受診勧奨 5. 健康教育 6. 健康相談 7. 後発医薬品の使用促進 8. その他の事業
注2) 1. 健保組合 2. 事業主が主体で保健事業の一部としても活用 3. 健保組合と事業主との共同事業
注3) ア. 加入者等へのインセンティブを付与 イ. 受診状況の確認(要医療者・要精密検査者の医療機関受診状況) ウ. 受診状況の確認(がん検診・歯科健診の受診状況) エ. ICTの活用 オ. 専門職による健診結果の説明 カ. 他の保険者と共同で集計データを持ち寄って分析を実施 キ. 定量的な効果検証の実施
ク. 対象者の抽出(優先順位づけ、事業所の選定など) ケ. 参加の促進(選択制、事業主の協力、参加状況のモニタリング、環境整備) コ. 健診当日の面談実施・健診受診の動線活用 サ. 就業時間内でも実施可(事業主と合意) シ. 保険者以外が実施したがん検診のデータを活用 ス. その他
注4) ア. 事業主との連携体制の構築 イ. 産業医または産業保健師との連携体制の構築 ウ. 外部委託先の専門職との連携体制の構築 エ. 他の保険者との健診データの連携体制の構築 オ. 自治体との連携体制の構築 カ. 医療機関・健診機関との連携体制の構築 キ. 保険者協議会との連携体制の構築 ク. その他の団体との連携体制の構築
ケ. 保険者内の専門職の活用(共同設置保健師等を含む) コ. 運営マニュアルの整備(業務フローの整理) サ. 人材確保・教育(ケースカンファレンス/ライブラリーの設置) シ. その他